

2025 WMA Asian Continental Championships (2025/香港)

トレーナー活動報告書



期間：2025年11月26日（水）～11月30日（日）

会場：中国香港

報告者：河西 紀秀

フィジオ：河西 紀秀・柊岡 智之

関係者各位

師走の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご厚情を賜り、心から感謝しております。

2025 WMA Asian Continental Championships(2025/香港)にフィジオとして、日本代表チームに帯同して参りましたので、トレーナー活動報告をさせていただきます。

2025 年6月に選手選考が実施され、50+ 及び60+の選手、総勢34名が選出されました。選出された選手は本大会に向け複数回の合同合宿を得て本大会へ挑みました。又、フィジオにとっても、この合宿期間を通して、セルフコンディショニングの必要性を伝え、啓蒙を図るなど対策を講じる機会を得た。

本大会へは、フィジオ2名が派遣され、各チームのサポートを実施。大会期間を通してフィジオが対応した件数は延べ149件、中でも対応部位としては、両チームとも腰部、膝関節、大腿後面、下腿後面などが目立った。処置内容としては多くの選手が、パートナーストレッチやテーピングなどの対応が大半を占めた。

ホッケー会場ではアイスバスが用意されており、選手が誰でも使用できるように配慮がされていた。ゲーム後のリカバリーに最適であり、多くの日本代表選手も使用されていました。

現地での医療機関受診においては、風邪症状で受診をされた選手を認めたが、障害や外傷での受診は認めなかった。ただ、連戦であったこともあり、最終戦が近づくにつれ、大半の選手は筋疲労や痛みなどの訴えが多くなり、2人のフィジオも対応に難渋した。又、プレー中に痛みなどが生じた数人の選手においては、帰国後、医療機関を受診されたとの報告を受けています。

今大会を通して、両チームともコンディションが万全ではなかったものの、メダル獲得に至ったことは大きな収穫であったと思います。

帯同した2人のフィジオは前年度のWMHニュージーランド大会も経験しており、現地での連携もスムーズに対応出来たと感じている。

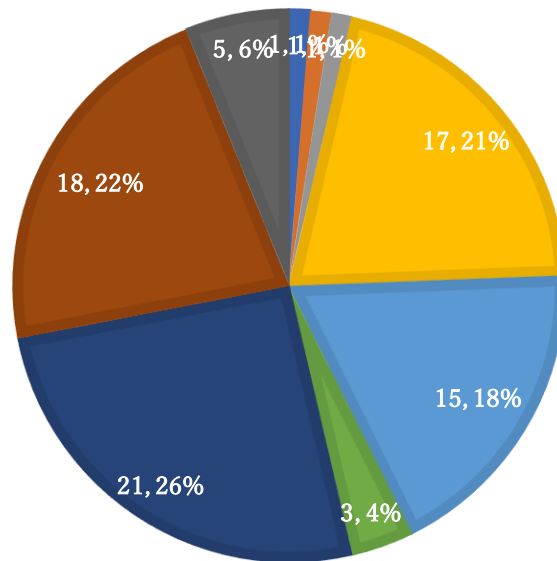
最後に大会前からお世話になった日本ホッケー協会(マスターズ部会)をはじめ、多くの大会関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。

敬具

令和7年12月16日
理学療法士/JSPQ-AT
河西 紀秀

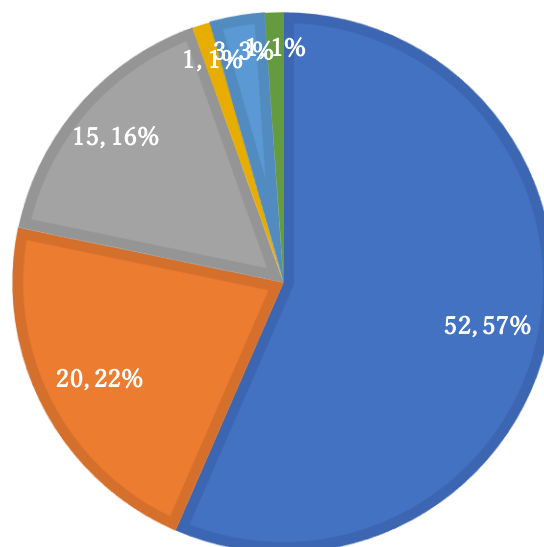
50+ 部位別,対応件数（82件）の割合

- 頸部
- 腰部
- 大腿後面
- 肩関節
- 膝関節
- 下腿後面
- 手指
- 大腿前面
- 足関節（足趾含む）



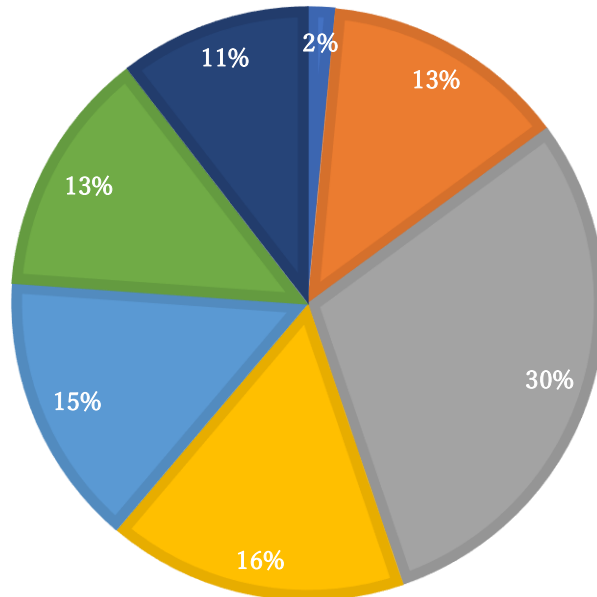
50+ 処置内容

- ストレッチ（マッサージ含む）
- テーピング
- アイシング
- 創処置
- 物理療法
- 傷害相談



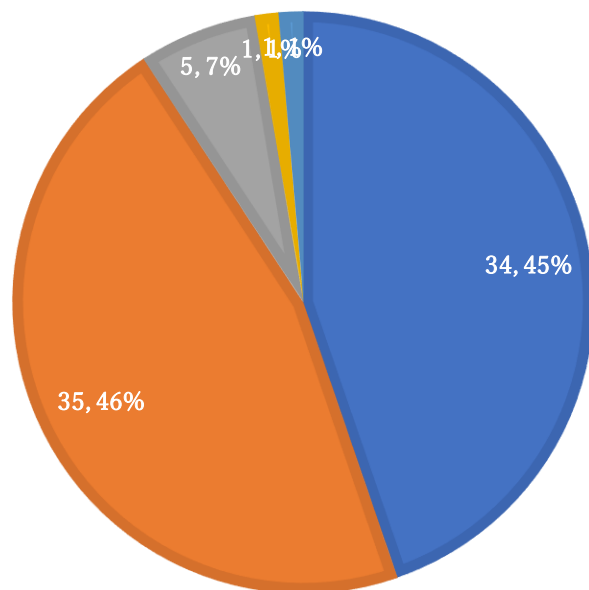
60+ 部位別,対応件数（67件）の割合

■ 顔 ■ 肩関節 ■ 腰部 ■ 膝関節 ■ 大腿後面 ■ 下腿後面 ■ 足関節（足趾含む）



60+ 処置内容

■ ストレッチ（マッサージ含む） ■ テーピング ■ アイシング ■ 創処置 ■ 物理療法



活動風景



テーピング



アイスバス



ウォーミングアップ



ケア



フィジオ